1. 機械設備計画説明書

■基本方針

- ・適切なゾーニング計画により、効率的な設備計画を行います
- ・安全性・操作性・利便性等に優れた機材やシステム構成を行います。

■共通仕様

本工事は、【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年度版)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (平成28年度版)】及び【公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (平成28年度版)】によります。

■計画説明

1) 空気調和設備

本工事は1.2階部に於いて空冷ヒートポンプ式チラーを熱源とし、ペリメーターゾーンをファンコイルユニットにて対応し インテリアゾーンはエアハンドリングユニットにて外気を取り入れ、2階天井部のダクトスペースを再利用し、図書館部の空調調和を行い、 又、3階部分は空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン(ビル用マルチ)により各ゾーンの個別空調を行います。

2) 換気設備

本工事は1.2階部に於いては第3種換気を基本とし、定常的に運転を行う箇所とエアハンドリングユニットの外気取り入れ風量のバランスを取りながら適切な換気を行います。

又、3階の各居室部は熱交換型換気扇にて第1種換気を行う、尚便所等の非居室部は第3種換気とします。

3) 自動制御設備

熱源機廻り・・・熱源機台数制御

2次ポンプ流量制御(インバータ制御)

2次ポンプバイパス弁制御

空調機制御・・・室内温度及び給気温度による冷温水2方弁の比例制御

室内湿度による加湿器のON/OFF制御

空調停止時は、0 A ダクト温度低下で2 方弁全開、2 次ポンプ強制起動

空調運転時は、0 A ダクト温度により2 方弁開度補正

FCU制御 ・・・・室内或いは FCU還気温度による冷温水 2 方弁比例制御

集中管理・・・・空調機個別発停、或いはスケジュール発停。状態・故障管理

FCU個別(或いはゾーン)発停、或いはスケジュール発停

4) 衛生器具設備

本工事は1~3階部に於いて各所要箇所に衛生器具を設置する、又県バリアーフリー条例に基づき障害者対応の器具を設置します。

5) 給水設備

本工事は1階機械室内にパネル型受水槽を設置し、以降加圧給水ユニットにて各所へ加圧給水を行います。

尚、消火水槽及び外部散水栓の一部は直圧給水とします。

6) 排水設備

本工事は屋内は汚水・雑排水分流式とし、屋外第一桝にて合流し、以降合併式浄化槽へ導入します。

尚、屋外地盤の高さにより、必要箇所に排水ポンプ槽の設置も考慮します。

7) 給湯設備

本工事は必要箇所に小型電気温水器を設置し給湯を行います。

尚、飲食スペースの厨房はガス給湯器により給湯を行います。

8) 消火設備

本工事は既設消火水槽(地下型)を利用し、新規に屋内消火栓ポンプユニットを設置し、これにより消火配管を行います。

9) ガス設備

本工事は飲食スペース内の厨房及びガス給湯器への都市ガス配管を行います。

10) 排水処理設備

本工事は敷地南東部の駐車場に合併式浄化槽(558人槽)を設置するものである、尚浄化槽は耐重仕様とします。

■機械設備諸元表

階	室名	空調方式	冷房		暖房				換気	人員密度						
			温度	湿度	温度	湿度	換気方式	換気制御	回数		給水	給湯	汚水	雑排水	ガス	備考
	7045 # 45		°CBD	%RH	°CDB	%RH	=		(回/h)	(人/m ²)						
	開架書架	AHU+FCU	28	_	20		EXF			0.30	_					
	作業室	AHU+FCU	28		20		FV			0.30	0			0		
	書際室	AHU+FCU	28		20 28		EXF EXF			0. 20	0	0		0		
	相談室	AHU+FCU	28				FV			0. 20						
1階	守衛室	AHU+FCU AHU+FCU	28	_	20		FV FV			0. 20						
I PE	授乳室1		_				FV FV			0.00	0	0		0		
	休憩室	AHU+FCU AHU+FCU	28	_	20		EXF			0. 20	0	0		0		
	閉架書庫1.2	AHU+FGU	28	_	20		SF+EF			0. 10						
	機械室	AHU+FCU	00	_	00		5F+EF EXF			0.50	_					
	飲食スペース	AHU+FCU AHU+FCU	28	_	20		EXF			0.50	0	0		0	0	
	ホール		28		20					0.10						
	児童開架書架	AHU+FCU AHU+FCU	28		20		EXF EXF		\vdash	0.30			_			
	読み聞かせスペース		28	_	20				\vdash		_					
2階	事務室	AHU+FCU	28	_			EXF FV		\vdash	0. 20	0		-	0		
2階	授乳室2	AHU+FCU	28		20					0.00	0	0		0		
	物産販売スペース	AHU+FCU	28		20		EXF			0.30						
	観光案内所	AHU+FCU	28		20		EXF FV			0. 20						
	ボランティアR	AHU+FCU	28		20		FV			0. 20						
	(図書館)	400	00		00		UEU			0.00						
	学習室1.2	ACP	28		20		HEU			0.30						
	学習スペース	ACP	28		20		HEU			0.30						
	ICT	ACP	28	_	20		HEU			0. 30						
	貴重資料庫1	ACP ACP	22	_	20		HEU			0. 20						
	和室1.2	AGP	28		20		HEU			0. 20						
	(地域福祉活動スペース)	400	00	_	00		UEU			0.00						
	貸部屋1.2	ACP	28	_	20		HEU			0. 20	_					
	(三重大学)	ACD	20	_	20		HEH			0.50						
3階	研究員室1.2	ACP ACP	28		20		HEU			0.50						
	会議・事務室	ACP	28		20		HEU			0. 20						
	展示情報室	ACP	28		20		HEU			0. 30						
		ACP	28		20		HEU			0. 20						
	貴重資料庫2 (忍者)	AUP	28	_	20		HEU				_		_			
	(忍有) 忍者屋内体験	ACP	28	_	20		HEU			0.30			-	-		
	忍者変身処	ACP	28		20		HEU		\vdash	0.30	_					
	ぶ 有 変 身 処 事 務 室	ACP	28	_	20		HEU		\vdash	0. 30						
	事務主 休憩スペース	ACP	28	_	20		HEU		\vdash	0. 20						
	多目的ホール	ACP	28	_	20		HEU		\vdash	0. 20	_					
	男WC (1~3階)	noi	20		20		EXF	人感	15	0. 20	0	0	0	0		
	女WC (1~3階)	-	 				EXF	人感	15		0	0	0	0		
	多目的WC (1~3階)	1	<u> </u>	_			EXF	人感	15		0	0	0	0		
	倉庫						FV	7/10/	5		\vdash	<u> </u>	\vdash	 		
共通	湯沸室						FV		5		0	0		0		
八世	m m 至 EPS	1	<u> </u>	_			.,,		-		_					
	PS	-	<u> </u>	_									_			
	EV			_												
	階段		<u> </u>													
	PERA				l											

〈特記事項〉

ACP:空冷ヒートポンプパッケージエアコン

FCU:ファンコイルユニット AHU:ユニット型空調機

AIIU:ユーット空呈動

HEU:空調換気扇

EXF :消音型ストレートシロッコファン

EF : 片吸込シロッコファンSF : 片吸込シロッコファン

57 : 万吸込フロッコン FV : 天井換気扇

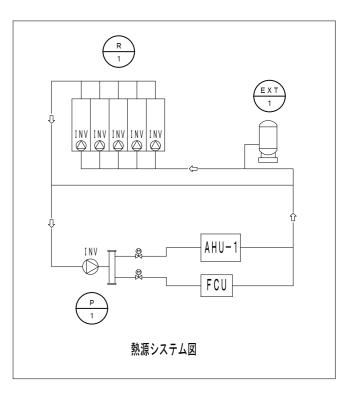
Company Name Title No

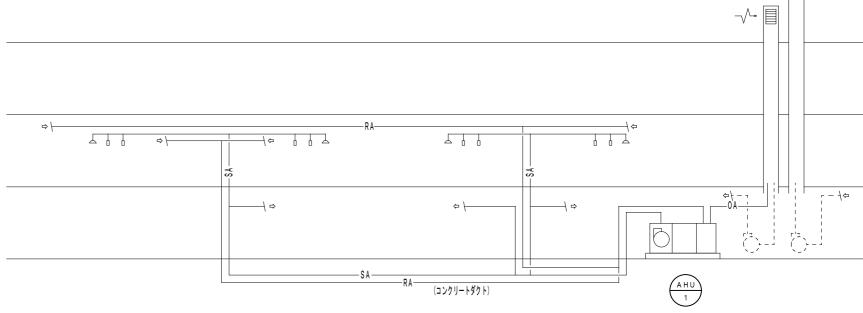
主要空調機器

(基本計画)

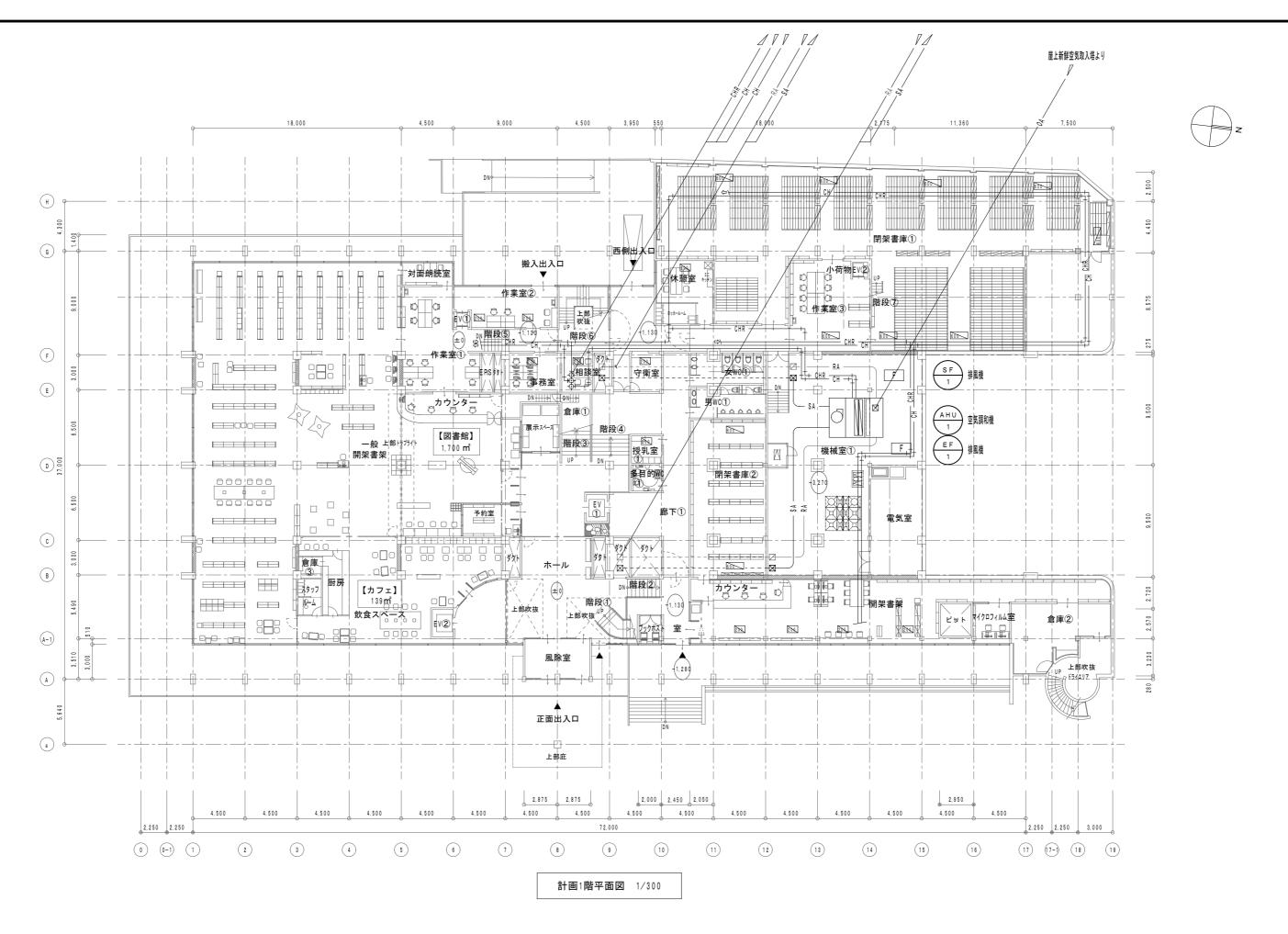
記号	機器名		仕様	数量
R – 1	 空冷ヒートポンプチラー	(寒冷地仕様)	6 0 馬力(ポンプ内蔵)×5 台ユニット	1 S E T
· 1	上市に 「 イベン ノ ノ ノ	冷却能力	180KW×5	1021
		加熱能力	180KW×5	1
		付属品	変流量システムコントローラー一式,防振架台	
P-1	冷温水循環ポンプ	片吸込渦巻ポンプ	2 2 KW(3 φ × 2 0 0 V),防振架台	1
			(システムにてインバーター制御)	
-V- 1		(南部田)	0.001 (464.11)	+ -
E X I — I	密閉式膨張タンク	(空調用)	300L(縦型)	1
A H U – 1	エアハンドリングユニット	横型	(1.2階系統)	1
		風量	53000m3/h (OA16000m3/h)	
		冷房能力	407KW (350000kcal/h)	
		暖房能力	453KW (390000kcal/h)	
		送風機	800pa×45kw	
		加湿能力	水スプレー(118kg/h)	
FCII 1	ファンコイルユニット	天吊型	600タイプ	19
<u> </u>	ファフコイルエーット	大市至	000317	19
FCU-2	ファンコイルユニット	天吊型	400タイプ	5
FCU-3	ファンコイルユニット	天吊型	200タイプ	3 2
D A C 1	 空冷パッケージェアコン	(年間冷房中温形)	5馬力(床置ダクトタイプ),ファン残留運転回路内蔵	1
1 40 1	(年間冷房中温形)	冷房能力	14.0 KW	+ '-
	(1161/1931 / 122/197)	電気ヒーター	1 5 KW	1
		加湿器	パン型 2.0 KW	
	10 00 00	to to the terms		
M A O – 1	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室外機)	40馬力 集中リモコン、防振架台	1
	(高効率ビル用マルチ)	冷房能力 暖房能力	1 1 2 KW 1 2 6 KW	+
		咳厉能刀	1 2 0 NW	+
MAI-1-1	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	5馬力(天井カセット4方向) 個別リモコン	2
		冷房能力	1 4. 0 KW	
		暖房能力	1 6. 0 KW	
	min 1 1°	/ 	(E.) (F.) MOULE - 1	
MAI-1-2	2 空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機) 冷房能力	4馬力(天井カセット4方向) 個別リモコン 11.2 KW	1
		「市房能力 暖房能力	12.5KW	+
		吸 の形 ルフ	1 Z. J KVV	
MAI-1-3	 空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	2.8馬力(天井カセット4方向) 個別リモコン	6
		冷房能力	8. 0 KW	
		暖房能力	9.0 KW	
	南外に 1222 号表の た ジェマーン	(中中操)	A.E. + (T.H.+ I I. 4.+++)	
WAI-1-4	2 空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機) 冷房能力	2馬力(天井カセット4方向) 個別リモコン 5.6 KW	3
		□	6. 3 KW	+
		*及/万代/ノ	0. 0 (())	1
MAI-1-5	5 空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	1.25馬力(天井カセット4方向) 個別リモコン	2
		冷房能力	3.6 KW	
		暖房能力	4. 0 KW	
M A I = 1 = 6	 空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	(室内機)	1馬力(天井カセット4方向) 個別リモコン	3
m / 1 1	一工作に ドボンノスパッソーシェテコン	冷房能力	1 局力 (大弁カセット4 万円) 1 個別 9 モコン 2.8 KW	"
		暖房能力	3. 2 KW	
		restored filled #		
_				
				_
	1	l .		

記号	機器名	仕様					
MAO-2	 空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室外機)	4 0 馬力	集中リモコン、防振架台	1		
	(高効率ビル用マルチ)	冷房能力	1 1 2 KW	W. I. V. E. P. I. IVANIA	·		
	(Injury 1 and 1 an	暖房能力	1 2 6 KW				
		30011011					
MAI-2-1	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	4馬力(天井カセット4方向)	個別リモコン	6		
		冷房能力	1 1. 2 KW				
		暖房能力	1 2. 5 KW				
MAI-2-2	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	2.8馬力(天井カセット4方向)	個別リモコン	3		
		冷房能力	8.0 KW				
		暖房能力	9.0 KW				
MAI-2-3	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	2馬力(天井カセット4方向)	個別リモコン	3		
		冷房能力	5.6 KW				
		暖房能力	6. 3 KW				
		(-1-1-1m)		mai			
MAI-2-4	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	1.6馬力(天井カセット4方向)	個別リモコン	1		
		冷房能力	4. 5 KW				
		暖房能力	5.0 KW				
MAO-3	 空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	(室外機)	4 0 馬力	集中リモコン、防振架台	2		
	(高効率ビル用マルチ)	冷房能力	1 1 2 KW	1111			
		暖房能力	1 2 6 KW				
MAI-3-1	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	4馬力(天井カセット4方向)	個別リモコン	1 (
		冷房能力	1 1. 2 KW				
		暖房能力	1 2. 5 KW				
MAI-3-2	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	2.8馬力(天井カセット4方向)	個別リモコン	1		
		冷房能力	8.0 KW				
		暖房能力	9.0KW				
M	 空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	(室内機)	2.5馬力(天井カセット4方向)	個別リモコン	2		
WAI 0 0	土巾に 「ホンクスパケケーフェケコン	冷房能力	7.1KW	四川ノレコン			
		暖房能力	8.0 KW				
MAI-3-4	空冷ヒートポンプ式パッケージェアコン	(室内機)	4馬力(天井隠蔽ダクト型)	個別リモコン	8		
		冷房能力	11.2 KW				
		暖房能力	1 2. 5 KW				

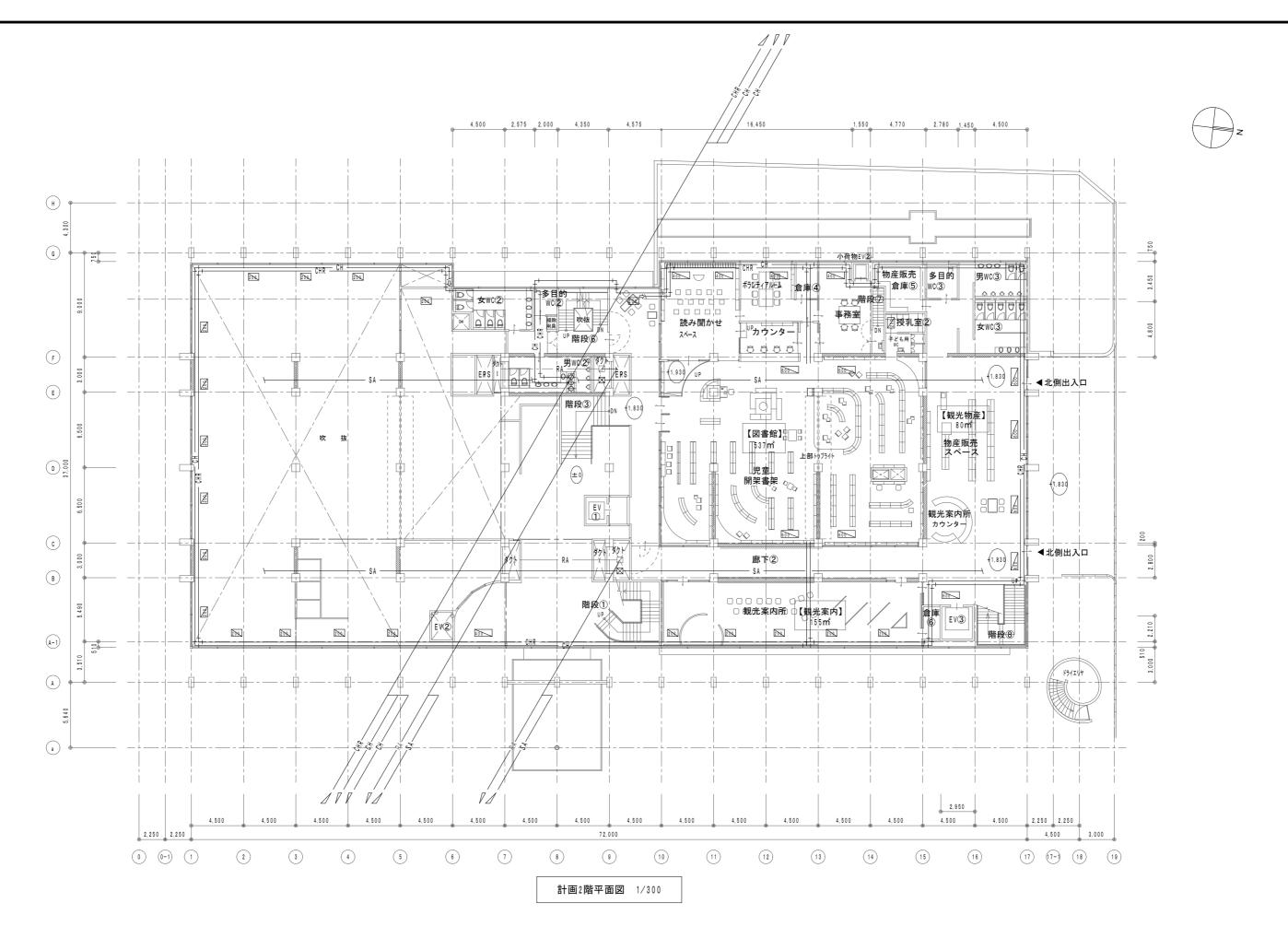




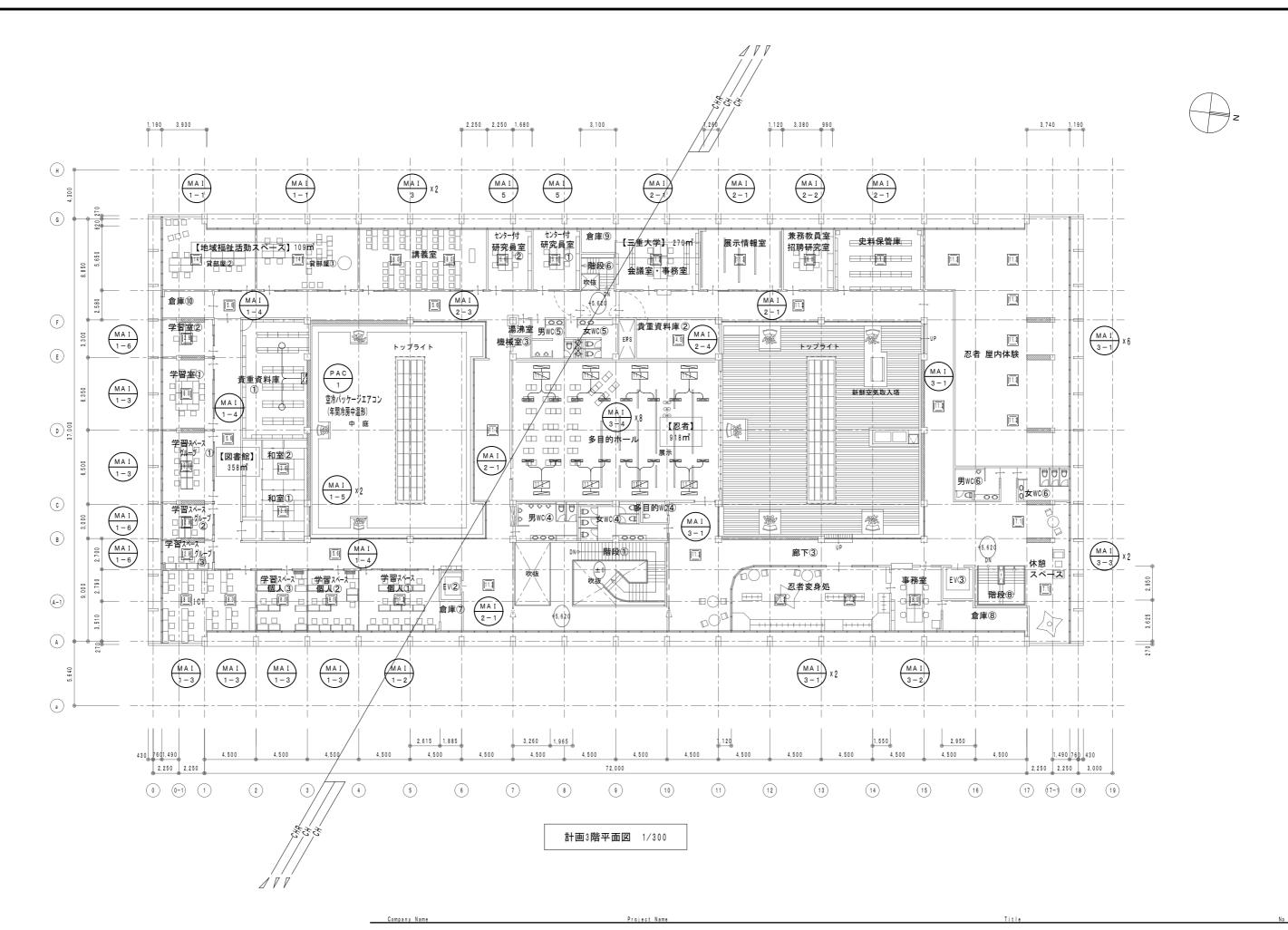
伊賀市南庁舎整備工事基本計画、基本設計及び耐震補強計画



伊賀市南庁舎整備工事基本計画、基本設計及び耐震補強計画

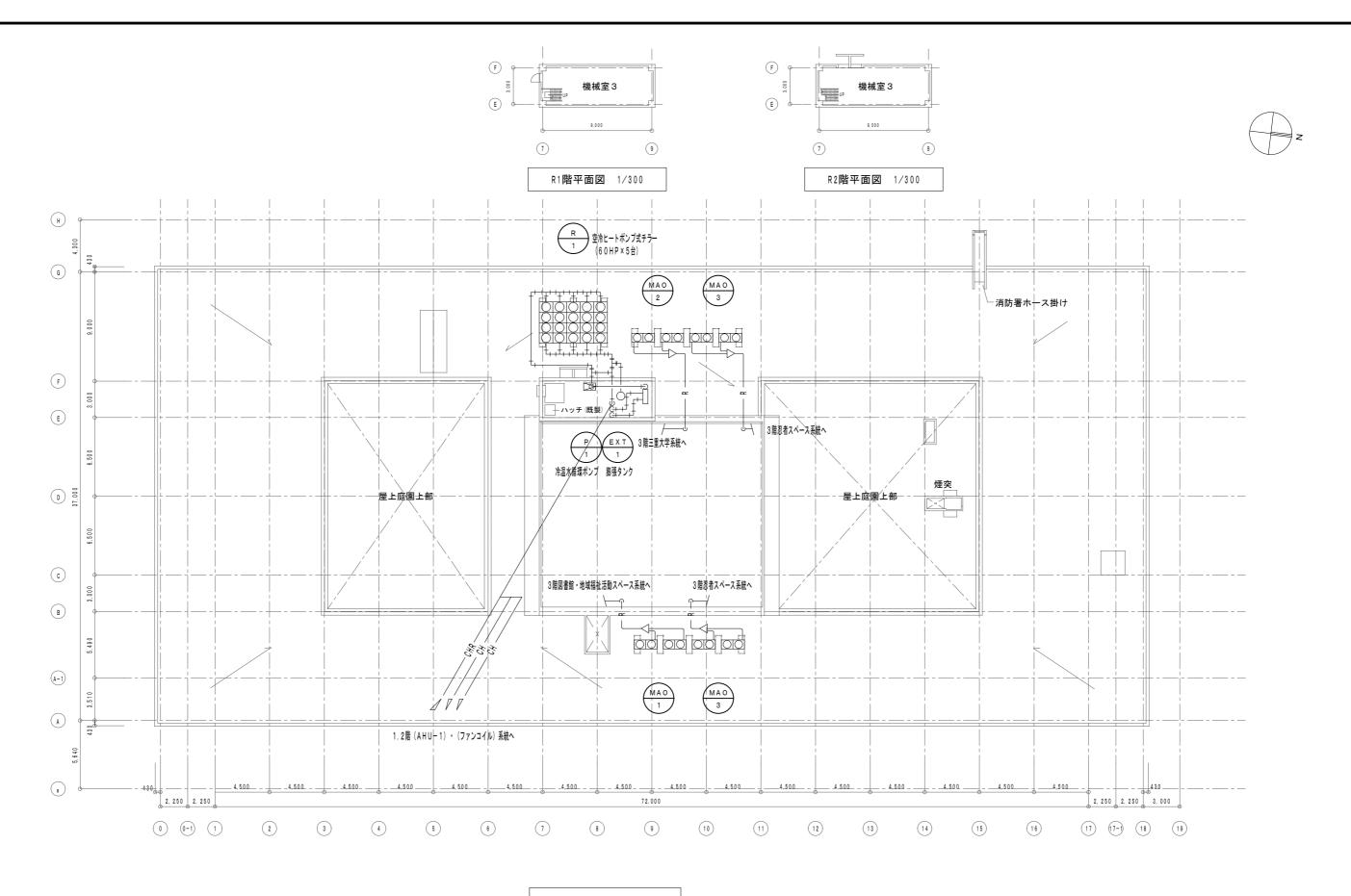


Company Name Project Name No



伊賀市南庁舎整備工事基本計画、基本設計及び耐震補強計画

計画3階平面図(空調)

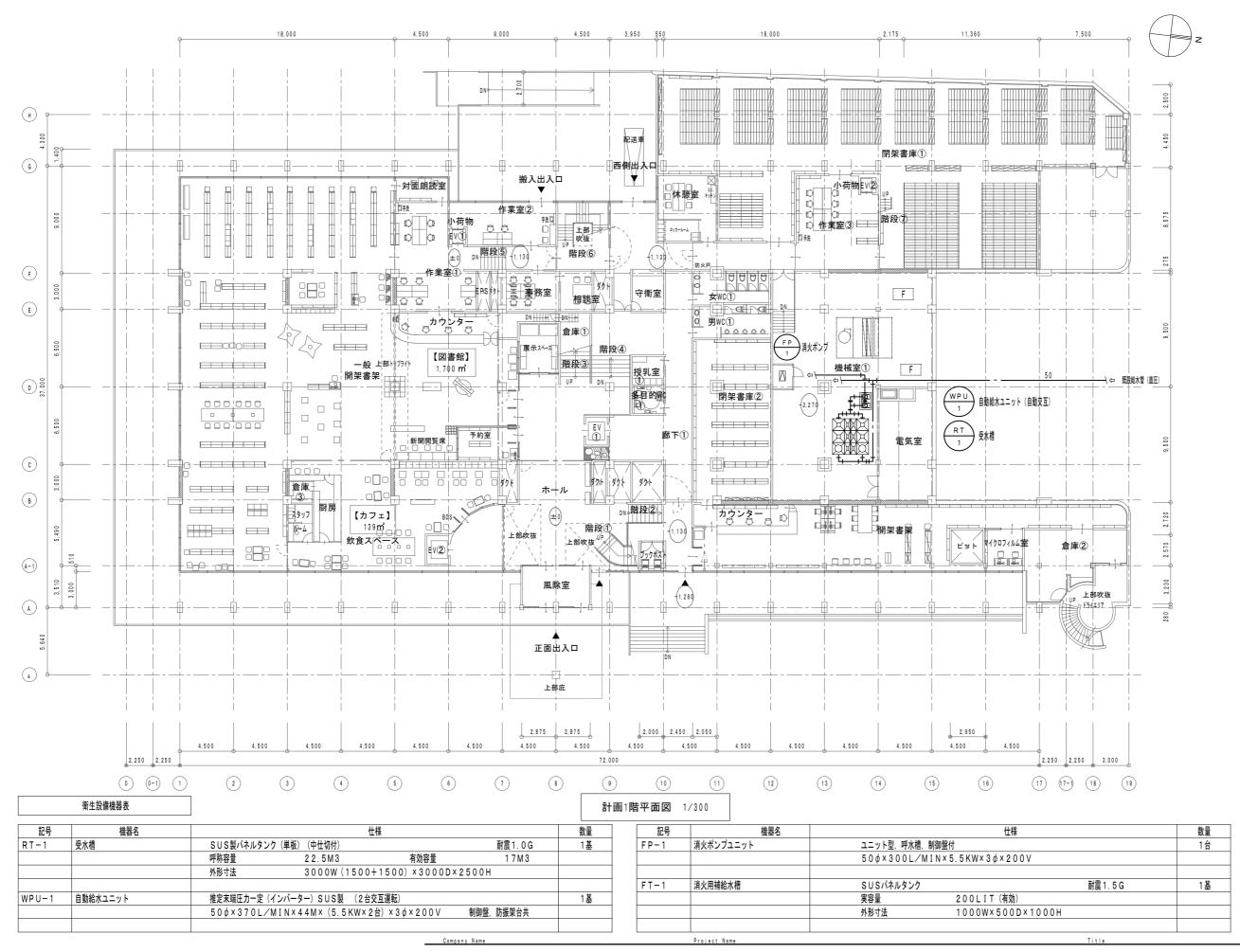


計画R階平面図 1/300

計画R階平面図(空調)

M-06

伊賀市南庁舎整備工事基本計画、基本設計及び耐震補強計画



伊賀市南庁舎整備工事基本計画 熱源改修比較検討書

総合比較表

比較熱源システム	A方式(ターボ冷凍機+ガス焚温水ボイラー)	B方式(ターボ冷凍機+油焚温水ボイラー)	C方式(空冷ヒートポンプチラー)	D方式(吸収式冷温水発生機)	E方式(空冷ヒートポンプ。チラー+パッケージェアコンEHP)	F方式(吸収式冷温水発生機+パッケージ・エアコンGHP)	備考
	冷却塔 温水ボイラー 都市ガス ターボ冷凍機 P	冷却塔 温水ボイラー A 重油 P 冷温水配 P P 市温水配	空冷ヒートポンプチラー	冷却塔 の収式冷温水発生機 都市ガス 本気	ボッケージエアコン 電気 冷媒配管 空冷ヒートポンプチラー 冷温水配	冷却塔 パッケージエアコン 電気 冷球配管 吸収式冷温水発生機 都市ガス 常気	
熱源容量合計	703.3 kW	703.3 kW	1,260.0 kW	809.0 kW	1,348.0 kW	809.0 kW	
イニシャルコスト 機器費(熱源機)	55,291 千円	55,291 千円	64,722 千円	48,302 千円	63,674 千円	71,479 千円	*機器設備費定価*掛率(60%)
機器費(屋内機)	68,790 千円	68,790 千円	68,790 千円	68,790 千円	46,800 千円	46,800 千円	
機器費 計	124,081 千円	124,081 千円	133,512 千円	117,092 千円	110,474 千円	118,279 千円	
電気配線工事費	3,720 千円	3,720 千円	10,200 千円	1,590 千円	10,890 千円	1,740 千円	* 想定受電容量 * 定額 (30千円/kW)
冷温水配管工事費	7,033 千円	7,033 千円	12,600 千円	8,090 千円	9,000 千円	6,330 千円	* 機器能力 * 定額 (10千円/kW)
ガス配管工事費	4,650 千円	一 千円	一 千円	4,045 千円	一 千円	5,405 千円	*機器能力*定額 (5千円/kW)
重油配管工事費	一 千円	9,300 千円	一 千円	一千円	一 千円	一千円	* 機器能力 * 定額 (10千円/kW)
冷媒配管工事費	一千円	一千円	一千円	一千円	2,240 千円	2,240 千円	* 機器能力 * 定額 (5千円/kW)
合 計	263,564 千円	268,214 千円	289,824 千円	247,910 千円	243,078 千円	252,273 千円	
差額	基準	4,650 千円/年	26,260 千円/年	-15,654 千円/年	-20,487 千円/年	-11,291 千円/年	
(評価)	基準	102%	110%	94%	92%	96%	
契約電力 電力消費量	106 kW 170,142 kWh/年	106 kW 170,142 kWh/年	289 kW 330,738 kWh/年	45 kW 77.847 kWh/年	309 kW 326,371 kWh/年	49 kW 66,520 kWh/年	
都市ガス消費量	46,292 ㎡/年	- m²/年	- m²/年	77,847 kWff/ 年 75.544 ㎡/年	- m ² /年	71,837 ㎡/年	
A重油消費量	- Q/年	52,422 9/年	- 2/年	一 0/年	一 2/年	- 2/年	
ランニングコスト 電気料金	4,796 千円/年	4,796 千円/年	10,888 千円/年	2,126 千円/年	11,191 千円/年	2,020 千円/年	
都市ガス料金	8,078 千円/年	一 千円/年	一千円/年	10,990 千円/年	一 千円/年	10,265 千円/年	
A重油料金	一 千円/年	4,235 千円/年	一 千円/年	一 千円/年	一 千円/年	一 千円/年	* 電気∶中部電力参考
メンテナンス	100 千円/年	100 千円/年	100 千円/年	100 千円/年	100 千円/年	100 千円/年	* 都市ガス:東邦ガス参考 * A重油: 石油情報センター参考
숨 計	12,974 千円/年	9,131 千円/年	10,988 千円/年	13,216 千円/年	11,291 千円/年	12,385 千円/年	「八里加・石加川和ビング 参考
差 額	基準	-3,843 千円/年	-1,986 千円/年	242 千円/年	-1,683 千円/年	-589 千円/年	
(評価)	基準	70%	85%	102%	87%	95%	
15年間ライフサイクルコスト	458,174 千円	405,179 千円	454,644 千円	446,150 千円	412,443 千円	438,048 千円	
差額	基準	-52,995 千円	-3,530 千円	-12,024 千円	-45,732 千円	-20,126 千円	
(評価)	基準	88%	99%	97%	90%	96%	
二酸化炭素排出量	188.5 t-CO2/年	224.6 t-CO2/年	160.4 t-CO2/年	210.8 t-CO2/年	158.3 t-CO2/年	196.8 t-CO2/年	*電気: 0.485 kg-C02/kWh
差額	基準	36.1 t-CO2/年	-28.1 t-CO2/年	22.2 t-CO2/年	-30.2 t-CO2/年	8.2 t-CO2/年	*ガス: 2.290 kg-C02/㎡
(評価)	基準 イニシャルコストは平均的であるが	119% イニシャルコストは高価となるがラ	85% イニシャルコストは高価となるがラ	112%	84%	104% イニシャルコストは安価であるがラ	*A重油: 2.710 kg-C02/ℓ
	ランニングコストおよびライフルコ X スト共に高価となる。	ンニングコストおよびライフルコスト Δ 共に安価となる。	ンニングコストおよびライフルコスト Δ 共に安価となる。	スト共に安価であるが、ランニング Aコストは高価となる。	およびライフルコスト共に安価とな O る。	ンニングコストおよびライフルコスト O 共に高価となる。	
燃料供給推移	都市ガス自由化対象外のため、今 後の価格低下が見込めない。	中東アジアを含む国際情勢により 今後価格上昇の傾向にある。	電力自由化により安価な電力会社 の選択が可能である。	都市ガス自由化対象外のため、今 後の価格低下が見込めない。	電力自由化により安価な電力会社 の選択が可能である。	都市ガス自由化対象外のため、今 後の価格低下が見込めない。	
環境性	二酸化炭素排出量はE方式の約1 6%多くなる。	二酸化炭素排出量は一番多く環境性に不利となる。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	二酸化炭素排出量はE方式と同等で環境性に有利である。	二酸化炭素排出量は多く環境性に 不利となる。	二酸化炭素排出量は一番少なく環境性に有利である。	二酸化炭素排出量は多く環境性に 不利となる。	
	ガス配管設備の新設および排煙設備(煙突含)の改修が必要となる。	ク等の経年劣化による改修が必要 Δ となる。	受電設備の増設が必要となる。 △	ガス配管設備の新設および排煙設備(煙突含)の改修が必要となる。	受電設備の増設が必要となる。 △	ガス配管設備の新設および排煙設備(煙突含)の改修が必要となる。	
	この方式は主に大規模施設の空調システムであり、今回の規模に × は若干過大	この方式は主に大規模施設の空調 システムであり、今回の規模には若 干過大	モジュールタイプであるので設置 性及び効率性・機能性が向上して いる	この方式は中規模から大規模施設 までの空調システムであり、十分 対応できる	調とし建物全体の効率を図れる	複合型の空調方式であり、1.2階を セントラル空調とし、3階を個別空 調とし建物全体の効率を図れる	
(仮)冬季暖房能力の影響	冬季の暖房能力低下無し	冬季の暖房能力低下無し	冬季外気温の影響を受けやすい 為、暖房能力は機器選定時に20% 程度大きくなる様に選定	冬季の暖房能力低下無し	20%程度大きくなる様に選定	冬季の暖房能力低下無し	
	既設機械室への搬入・搬出が若干 困難(屋内設置のみ)	既設機械室への搬入・搬出が若干 困難(屋内設置のみ)	外部設置場所が必要となる(屋上であれば荷重チェック必要)、但しその分の 機械室のスペースが空いてくる(屋外設 置のみ)	屋内型設置の場合はA・B案と同様、屋外設置であればC案と同様 ムになる(屋外及屋内選択可)	外部設置場所が必要となる(屋上であれば荷重チェック必要)、但し その分の機械室のスペースが空い てくる	屋内型設置の場合はA·B案と同様、屋外設置であればC案と同様 になる(屋外及屋内選択可)	
	冷却塔が屋外に必要な為、循環水量の1%程度が飛散(水質管理も 必要)	冷却塔が屋外に必要な為、循環水量の1%程度が飛散(水質管理も必 △要)	冷却塔不要	冷却塔が屋外に必要な為、循環水量の1%程度が飛散(水質管理も必要)		冷却塔が屋外に必要な為、循環水 量の1%程度が飛散(水質管理も 必要)	
提案結論	別使用室が多い為にビル用マルチ方式に	制約が有り、新設の様にトータルコストのみ こよる個別空調が良いのではないかと思わ 機は屋外型・屋内型が選択できます ②近:	れます。尚セントラル空調方式部分は空冷	hヒートポンプ式チラーよりも暖房能力が安?	定している吸収式冷温水発生機に置き換え	ても良いと思います、その場合冷却塔が	
総合評価	Δ Χ		0	×	©	0	

mpany Name Title No